

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

八幡

高等学校

21

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>自身の幸せな人生と、未来の幸せな社会を、しなやかに創造する心豊かな人材を育成する学校 生徒の主体性が最大限に発揮される教育活動と、各教科の枠を越えた学びを通して、自ら深く学びたくなる風土、自ら勇気をもって挑戦したくなる環境、自ら豊かな社会を創造したくなる土壌を醸成し、柔軟な発想と奥行きのある思考力、たくましい行動力で、未来の世界を創っていく人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「志」に向かって自立的・意欲的に人生を生き抜く能力 ・人と学問に対する豊かな愛情を育む力
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を活用し、自主的に学習する態度の育成 ・多様な体験・経験による豊かな人間性の育成
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心と探究心の旺盛な人 ・心豊かで、主体性と協調性に富む人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	高き理想を掲げ、揺るがない信念を持って努力し、叡智を磨き徳義を修めて、一人ひとりが幸せに生きる社会の実現に資する人物を育成する。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>創立100周年のテーマである『世紀を翔解なき問いへの挑戦』の実践として行ってきた「教科科目横断型授業」と「本校独自の探究活動」の2つの取組の往還・相乗効果により、生徒達が自ら社会の課題を見つけ、その課題解決に主体的に取り組むことで、知的好奇心や行動力の向上に繋がるとともに、深く学ぶことのおもしろさ・楽しさに気づき、学びに対するこだわりが高まった結果、進路実績も上昇した。また体育大会や文化祭、予餞会の八高三大学校行事をはじめとする学校行事においては、実行委員会・生徒会を中心とした生徒主体での取組を継続することで、様々なリーダーが生まれ、学校の活性化に繋がった。今年度もこれまでの取組を一層充実させるとともに、年2回の面談週間の設定、生活実態調査やいじめアンケートなどを確実に実施することで、生徒の抱える課題を早期にかつ的確に把握し、全教職員で組織的に対応するとともに、必要な場面においてはSC・SSW・SSなど外部専門家との連携を図り、効果的な指導、助言を行う。また設置3年目の文理共創科は文部科学省指定事業から外れたが、3年間の指定期間において配置されたコーディネーターは昨年度に引き続き継続配置されることになった。コーディネーターの有効活用と、連携体制が取れている大学や研究機関、北九州市から今後も御協力をいただき、理数科と並ぶ本校教育活動の柱となるように、全教職員一丸となって取り組むことで、更なる本校の教育活動の充実、魅力化、飛躍を目指す。</p>	<p>特色ある2つの学科を両輪とした教育活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科科目横断授業を核とした文理共創科の文理横断的視点に基づく教育活動を推進し、多角的な視点を持ち学びを追究する意欲を育成する ・課題研究を核とした理数科の探究活動の充実と、科学技術分野に対して深く学ぶ意欲を育成する 	
	<p>安全・安心な学校環境の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な教育環境の整備を図るとともに、全教職員による指導とスクールカウンセラーや保護者等との連携によって心身の健康づくり及び生徒の抱える課題への対応を充実させる ・学校教育全体において、生徒同士が互いを思いやり、認めあうことのできる関係を構築させ、いじめなどを許さない心を育成する 	
	<p>主体性、協働性を育む生徒指導の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動全体をととして、生徒の主体性を最大限に引き出し、何事にも積極的に取り組み、失敗を恐れず仲間と協働して挑戦する態度を育成する ・学校行事や部活動等において、生徒の主体的な活動を支えリーダーシップを育成するとともに、自他の個性を尊重し相互に高め合う集団づくりに努める 	
	<p>人権・同和教育、特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の精神を涵養し、豊かな人権感覚のもと、思いやりにあふれる雰囲気醸成するとともに、暴力・差別等は絶対に許さない人間教育を行う ・インクルーシブ教育の理念を踏まえ、学校教育全体において、特別支援教育を推進する 	
	<p>志高く、自らの第一希望進路実現をめざすキャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な将来への展望を持たせるように、進路面談や進路学習会などの進路学習を充実させることで、生徒に高い志を持たせ、希望進路を支えるキャリア教育を行う ・大学・企業・研究機関等との連携により先進的な学びを体験し、次の社会の創造者としての覚悟と意欲を育てる 	
	<p>中学生とその保護者、地域住民に、本校の魅力ある教育活動が伝わる効果的な広報活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生体験入学や地域学校説明会の内容の見直しを行い、本校の特色ある教育活動や実績を発信する ・ホームページや本校職員による中学校訪問で発信する情報の見直しを行い、効果的な広報活動を行う 	
	<p>教職員の働き方改革推進と綱紀の厳正な保持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による業務の効率化と、業務の見直しによる業務統廃合や再構築を実施し、職員の負担軽減を行う ・教育職員としての自覚と責任感の醸成に努め、倫理観の育成につながる取組や研修を実施する 	

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	教務	基礎・基本を活用し、自主的に学習する態度の育成	一人一台端末の効果的な活用	授業アンケート	
			生徒の意欲を高める課題の精選		
			生徒の自走力を高めるための個別面談時間の確保		
	教務	文理横断的視点に基づく教育活動の推進	学校設定科目の効果的な実践方法の確立	授業アンケート	
			教科科目横断型授業の効果的な実践方法の確立		
			特色ある教育課程の検討		
	教務	指導と評価の一体化	生徒の学習意欲向上につながる評価基準の設定と周知	授業アンケート	
			生徒にフィードバックできる評価方法の確立		
			評価の結果を授業改善に役立てるPDCAサイクルの組織的な活用		
	広報	文理共創科の継続的な広報活動の展開	中学校や塾等の訪問を通じた本校の魅力発進	広報事業後のアンケート	
			中学校説明会、出前授業、学校見学等への積極的な参加		
			体験入学等における教科科目横断型授業等の魅力発信		
広報		理数科の魅力発信	理数部と連携のもと、魅力的な理数科行事や課題研究の発信	広報事業後のアンケート	
			理数科ニュース等を活用した効果的な広報活動		
			体験入学等における理数科の魅力発進		
広報	広報資料等の作成	魅力的な学校案内パンフレット、ポスター、チラシ等の作成	広報事業後のアンケート		
		見やすく魅力的なホームページの作成			
		事務室と連携のもと、充実した広報活動の実施			
生徒指導	魅力ある学校づくり	リーダーシップ・フォロワーシップの育成	学校生活アンケート等		
		自己指導能力の育成			
		部活動の充実			
	安心・安全な学校づくり	いじめ問題への迅速な実態把握・対応と組織的な対応	学校生活アンケート等		
		学校行事や部活動における安全管理・事故防止の徹底			
		貴重品や持ち物などの自己管理の徹底			
	規範意識の高揚・マナーの向上	基本的な生活習慣の確立	学校生活アンケート等		
		教育活動全体における規範意識・マナーの向上			
		端正な頭髪・服装の定着・周囲に配慮した登下校マナーの向上			

様式3

生徒部	保健	保健管理	PDCAサイクルに基づいた学校保健計画の適切な実施 校内衛生環境の整備(消毒、サーキュレーター加湿器、CO2モニターの活用) 生徒健診等の保健課行事の円滑な実施及び事後指導の徹底	学校生活アンケート 保健委員による点検活動		
		保健教育	各教科・総探および学校行事等の内容と連携したワンヘルス教育の推進 健康管理意識と防災教育意識の醸成を図る機会の創出 SCと連携した教育相談活動・特別支援教育の充実	ワンヘルス教育に関する講演会の実施 SC後のフィードバックの際の聴き取り		
		組織活動	校内研修を活用した教職員の理解と協力体制の確立 清掃活動や点検活動と連携した教職員の協力体制と組織活動の活性化 学校保健活動の情報発信し、日常生活行動の改善・向上を図る	生徒情報交換会 SCによる校内研修会の開催(事後アンケート)		
	人権・同和	人権に関する知的理解の深化	人権教育の視点を踏まえた教育活動の推進 生徒の実態に応じた人権教育による人権課題に関する知識・理解の深化 人権に関する研修を積極的に受講できる環境づくりの推進	人権学習後のアンケート		
		自己の大切さを自覚し、他者を思いやる人権感覚の育成	自己を見つめ直し、自らを高めていこうとする意欲・態度の育成 互いの個性とよさを尊重し、協調・協同しようとする意欲・態度の育成 いじめや差別を許さない環境づくりに向けた迅速な対応と相談活動の実施	人権学習後のアンケート		
		学力と進路を保障するための適切な支援の実施	生徒のキャリア教育への主体的な取組による進路実現の推進 特別な支援に関する関係職員との連携による組織的対応の促進 統一応募用紙、申し合わせ事項についての学習による進路実現に必要な知識の共有	人権学習後のアンケート		
	進路部	進路指導体制の充実	総合型選抜、学校推薦型選抜等に向けた指導情報の共有 入試情報の収集や併願パターンの研究等進路指導能力の向上 能力の伸長を図るための組織的・継続的な支援	進路希望調査		
			生徒の学習意欲の醸成と高い進路目標の設定	自己理解の深化や進路意識の育成のための面談・進路HRの活用 適切な時期での模試の実施と結果分析を踏まえた個別面談 得意科目を伸ばし苦手科目から逃げない進路指導の徹底	模試分析資料	
			大学入試関連業務の徹底	多様化する入試形態、出願方式の確実な理解と研究 新旧3年担当者会や担任会議を踏まえた進路情報の共有と活用研究 出願条件の確認作業の徹底と提出書類の点検業務のシステム化	新旧3年担当者会、担任会議	
キャリア教育		3年間を見通したキャリア教育の実践	探究のサイクルを学習の過程に取り入れた計画の立案 3年間を見通した探究活動計画と進路選択の繋がりを意識した指導 進路意識の高揚を図るための上級生によるガイダンスの実施	外部アセスメント結果を用いたフィードバック		
		理数科の課題研究と文理共創科の夢現∞プロジェクトの充実	課題設定・課題解決に必要な考え方の指導 探究の過程で「言語化」を意識した良質なアウトプット力の育成 成果発表会・コンテスト参加などの外部人材からの評価機会の設定	事後アンケート		
		各機関と連携したキャリア教育の実践	進路意識の高揚を図るために同窓会と連携を強化した進路行事の設定 生徒の個性伸長と視野拡大を狙った主体的な生徒研修の参加促進 産官学からの指導・助言を受けるためのコーディネーターとの連携強化	事後アンケート		

様式3

研修部	研修・図書	研修による授業力向上	基本研修(特に若年研修)の組織的・体系的推進 県提出文書(指導案・報告書等)の期日や作成要領の引継ぎ 授業アンケートの実施による授業力の向上	授業アンケート		
		図書館教育の充実と発展	図書館協議会運営への協力とアンケート等情報の整理と提供 移転後の図書館業務(蔵書点検等)の計画的実施 生徒の読書意欲を喚起させる取り組みの推進	図書の貸出冊数		
			校内研修の推進	各分掌の企画する研修の把握と実施の在り方の検討・調整 教育実習の前倒し実施への対応と協力依頼 語学・文化研修の企画・立案	事後アンケート	
	庶務	儀式・式典・行事の企画・実施		儀式・式典・行事などに際して関係部課との連携 学校運営に必要な事柄に臨機応変に対応 文書・記録の保管・活用	創立記念講演会後の生徒感想文読み取り	
		PTA活動・奨学金業務の充実	PTAと連携した教育活動の充実 誠鏡会と連携した後援活動の充実 奨学金の案内・手続きの遂行	学校からの周知		
			互助会・親交会の運営	規約に基づいた福利厚生事業の促進 職員室の環境整備と美化 職員室掲示板を活用した互助会の情報提供	月1回程度の点検	
	理数部	理数科推進	自然科学・科学技術領域における魅力ある教育活動の充実	理数科独自の教育活動の充実 課題研究を実施し、問題解決能力の育成と科学的思考力の向上 筑波研究学園都市研修旅行における、専門性の高い分野への知見	各学年、各行事後の振り返りアンケート	
			キャリア教育の推進	大学、外部機関と連携し講演、セミナー、出前講義等の実施による、理系の大学や企業への進路意識の高揚 理数科ニュースの発行による教育内容の情報発信	講演、セミナーの内容に関する満足度アンケート	
		互いを認め合い尊重する関係と協調性の育成	理数科集会への、積極的な発表の促進と、発表会を通じての多様性を認め合う心の醸成 課題研究をリードする主体性と研究推進のための協調性の育成	振り返りアンケート		

様式3

学年	第1学年	社会人としての基礎力を育成する	時間やルールを遵守し、人間力を育む	学校生活アンケート 各行事・講演会後のアンケート	
			爽やかな挨拶と正しい言葉遣いの励行により、コミュニケーション能力を育む		
			行事等への積極的な参加を通じて、目標に向けて他者と協力する力を培う		
		基礎学力と物事を考え抜く力を育成する	現在の学力と将来必要な学力の比較・分析を行い、自己の課題発見に取り組ませる	学校生活アンケート 家庭学習時間調査 授業アンケート	
			家庭学習を継続的に行い学力の土台となる基礎力を育む		
			探究活動を通じた課題を発見し解決するプロセスの習得		
	進路実現に向けて前進する力を育成する	進路学習を充実させ、具体的なキャリアイメージを醸成する	進路希望調査 家庭学習時間調査 学校生活アンケート		
		総合的な探究の時間を通じて、傾聴力や課題発見力を育む			
		年間5回の個別面談を通じて、生徒情報を確実に共有する			
	第2学年	確かな学力を身につけるための基礎基本の完成	目標設定、計画実践、計画の見直しのサイクルでの学習習慣の確立	学校生活アンケート 家庭学習時間調査 授業アンケート	
			国数英の3教科を中心に学力の土台となる基礎力の完成		
			探究活動を通して八高オクタゴンの育成		
豊かな人間性を育くむための自覚と責任感の育成		あいさつ、ルール遵守、マナーや礼儀、当たり前のレベルアップ	学校生活アンケート 各行事・講演会後のアンケート		
		行事や探究活動を通じた生徒のリーダー経験の機会増加			
		周囲に良い影響を与える言動を大切にする学年の雰囲気作り			
具体的な進路を決定するための進路指導の充実	年5回以上の面談を通じた生徒情報の共有	進路希望調査 家庭学習時間調査 各行事・講演会後のアンケート			
	オープンキャンパスや大学・外部団体主催のイベントへの積極的参加				
	年4回の進路HRを通して学年全体で統一した進路指導計画				
第3学年	社会人としての実戦的基礎力の確立	手帳等の積極的な活用を通じた、逆算思考と主体的に行動する力の確立	学校生活アンケート 各行事・講演会後のアンケート		
		グループ活動を通じた、多様な意見を尊重しつつ合意形成に貢献する力の養成			
		学校行事への主体的な参加と、全体を俯瞰的に捉え的確に発信し行動できる力の育成			
	確かな学力の完成と、思考力・判断力・表現力の養成	定期考査・模試等の分析を通じた課題の明確化と、改善策の実行	授業アンケート 家庭学習時間調査 知の追究記録ノート		
		学習記録をもとに自己管理の徹底と、継続的かつ効果的な学習の実践			
		教科横断的な学びを通じた、多角的な考察と最適解を導く力の養成			
進路実現を達成させるための実行力向上	各種進路情報の活用と、進路実現に向けたより具体的な行動計画の実践	進路希望調査 面談シート 3Csノート			
	面談や自己分析を通じた自己理解をもとにした課題克服への具体的取組				
	課題研究・探究活動の成果を、大学入試等で効果的に発信するための資料作成				